

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	温江公民館改良事業					
事業の概要	当施設は地域住民の会合等地域コミュニティ活動の中心施設として広く活用されているが、築38年を経過しあらゆる箇所で不具合がみられる状況である。中でも炊事場は利用人数、頻度に比べて狭小であり、拡張を主とした改良を行う。また、浴室を廃し、物置を広げる等の改良を実施することにより機能性、利便性の向上を図るものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	3,844	本年度事業費	3,844	交付金交付額	1,922
事業の必要性	旧加悦町地区計画では、地域コミュニティ充実のため、公民館等の積極的な利用を推進しているが、施設の老朽化、高齢化社会の進展によるバリアフリー化への対応、緊急時の避難場所としての安全性の確保等整備すべき課題が山積しているのが現状であり、多様化する公民館のニーズに耐え得る環境づくりが急務となっている。					
事業の有効性	炊事場、物置等を拡充することにより、より大人数での利用が可能となり、地域コミュニティ活動従事者の増加に資する。					
事業の効率性	地元自治会の要望に沿った効率的な整備がなされた。					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果 地域コミュニティの中核施設としての公民館の利便性を高めることにより、より活発な地域コミュニティ活動の実現に資する。					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果					
	5 行財政改革に資する成果					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。